

しちがはま

議会だより

No. 145

令和2年10月29日
宮城県七ヶ浜町議会



おいしい米
獲ったと〜

特集	令和元年度決算 復興事業の総仕上げに向けて	2
議案	地方税財源の確保を など	10
	赤ちゃん応援パッケージ支援事業の拡充を など6人が一般質問	18
委員会レポート	これも議会の仕事です	25

令和元年度
一般会計
決算

復興事業の総仕上げに向けて

9月議会

残ったお金 4億4300万円

令和2年度の特定事業へ 6673万円

令和2年度に繰り越し 3億7627万円



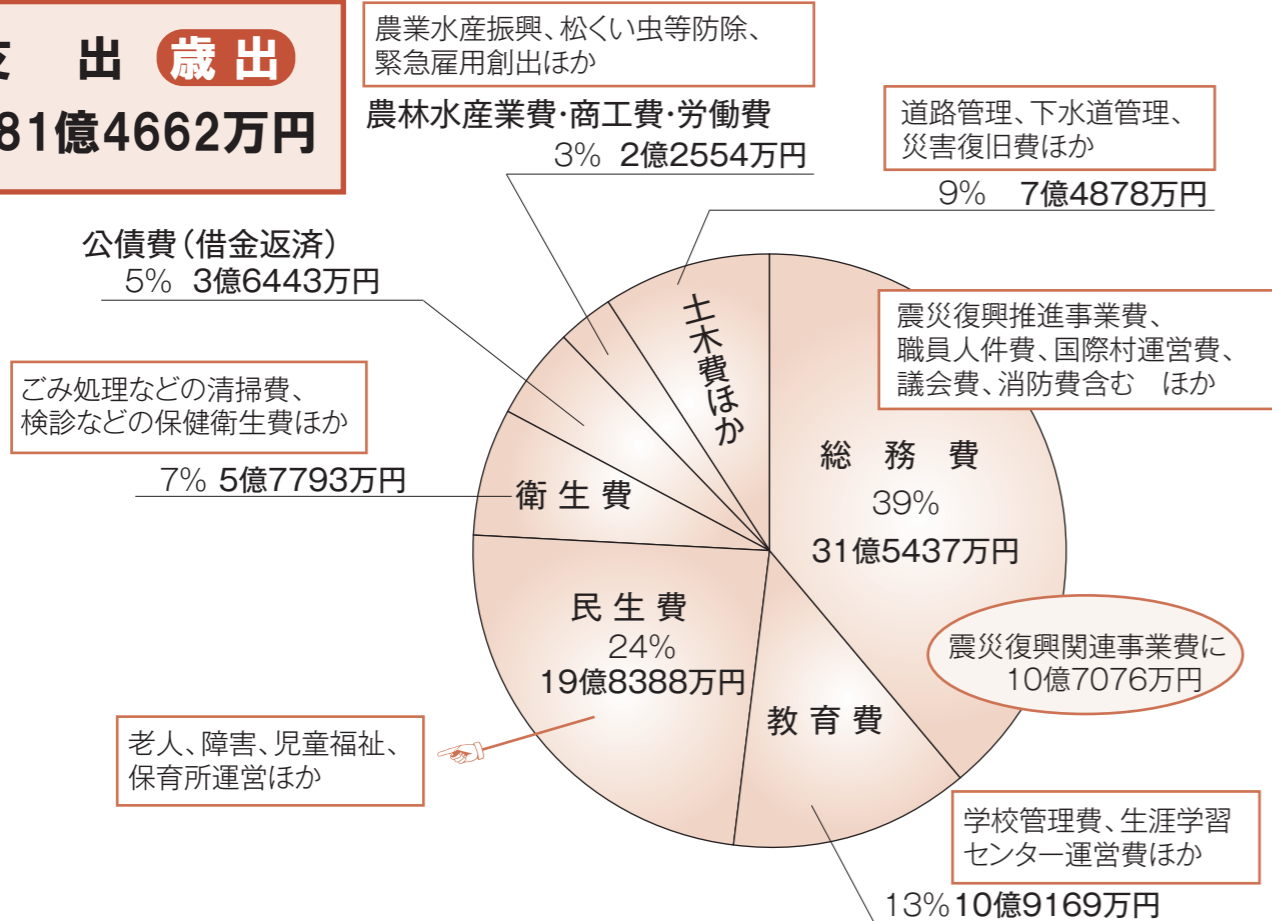
完成した代々崎浜地区広場



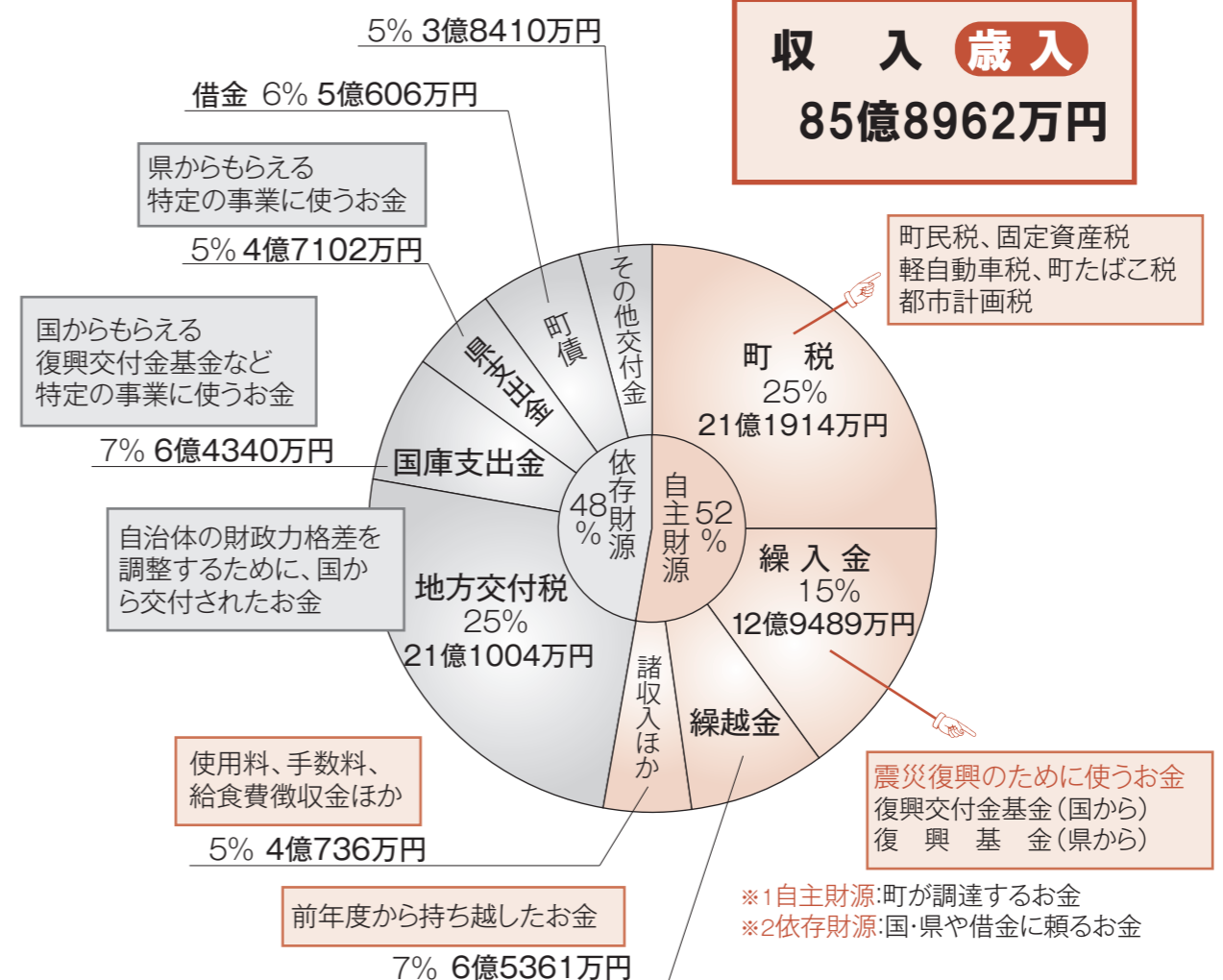
整備が進む長須賀多目的広場

金額は合計に合わせて千の位で四捨五入しています。

支出 歳出
81億4662万円



収入 歳入
85億8962万円



9月議会を9月1日から9月11日までの会期で開催しました。人事案件や条例改正、令和2年度補正予算など13件の議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。また、一般質問は6人が町の考えをいただきました。令和元年度各種会計の決算審査は、特別委員会を設置して審議しました。審議内容は4ページをご覧ください。

決算 審査

令和元年度の各種会計決算審査は、特別委員会を設置して9月2日から11日までの日程で行いました。
各課ごとに説明を受けたあと、質疑・応答により慎重に審査しました。その後、討論・採決の結果、全会計の決算を認定しました。主な内容を要約してお知らせします。



仁田 秀和 副委員長
安倍 敏彦 委員長

どのように使ったのか 各課審査で質疑応答

総務課

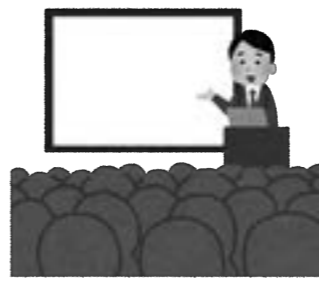
選挙は

問 コロナ禍で選挙があった場合を想定し、協議すべきでは。
答 総務係長 当初、協議はした
が結論は出なかった。



職員研修は

問 各研修の回数は。
答 総務課長 新人研修が年2回、
メンタルヘルス研修3回、他は1回
である。



防災対策室

交通安全対策は

問 新設したカーブミラーの場所はどこか。
答 防災対策室長 菖蒲田浜に3
カ所、松ヶ浜1カ所、要害2カ所、汐見台南2カ所、遠山1カ所、注意看板を菖蒲田漁港入口に2カ所設置した。



防犯体制強化事業は

問 各地区の防犯協会で防犯パトロールなどが実施されたが、不審者等の報告が入った場合の対応は。
答 防災対策室長 塩釜警察署に通報し巡回依頼をする。町でも巡回する。

通学路交通安全プログラム事業は

問 通学路の危険箇所の点検は、主に昼間に実施しているが、夕方や夜間の点検は。
答 防災対策室長 夜間はまだやっていないが、要望があればやっていきたい。

危険ブロック塀等 除却推進事業は

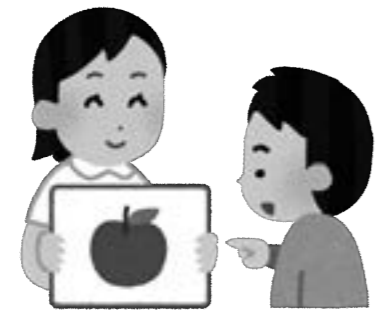
問 遡及適用となったが、LED化では遡及されなかった。整合性はどう考えているのか。
答 交通防災係長 ブロック塀は件数が少なく個人で不公平感はないものと考えている。国の制度が変わったことにより不利益が出ないように遡及した。

問 住民説明が必要だと思っが。
答 副町長 制度設計の時は難しい。別の検討をしたい。

子ども未来課

乳幼児健康診査等事業は

問 発達障害審査の対象年齢と診断状況は。
答 子ども未来課長 8カ月児から9カ月児や1歳6カ月児、2歳6カ月児などであるが、障害の発見が多いのは3歳児から5歳児である。相談には状況に応じて保健師や保育士、臨床心理士が行っており、丁寧に対応している。



ファミリー・サポート・センター事業は

問 利用者が希望する援助内容は、子育て支援センター長 仕事で児童クラブのお迎えが間に合わない時の援助である。

健康福祉課

食育推進事業は

問 欠食率や孤食率の調査は、幅広い年齢の分析をするべきだが。
答 健康福祉課長 欠食率の調査は毎年行っているが、孤食率は取っていない。参考にした。



長寿社会課

介護保険事業は

問 介護予防教室は、各地区で長きにわたり実施されているが、効果の検証はしているのか。また、新しい企画は考えたのか。
答 長寿社会課長 介護予防教室は古い歴史があり、各地区が自発的に行っていることが素晴らしいと考える。しかし男性の参加者が少ないとも聞いたことがあり、新しい情報の発信も必要と考える。

地域福祉推進事業は

問 避難行動要支援者名簿の活用方法は。
答 長寿社会課長 名簿提供率が96.1%であり、この名簿はあくまで手段で個別支援や平時の見守りにも使いたい。地域福祉推進会議で活用方法を検討している。

包括的支援事業・ 任意事業は

問 認知症カフェは、認知症を知ってもらうことや見守り、認知症患者家族へのサポート等に大変有効である。町職員の関りやカフェ開催の効果は。
答 長寿社会課長 町職員は保健師等と連携しながら一緒に参加している。認知症カフェは地域の理解と協力が高く、大変良いことと考えている。

産業課

新規就労者支援事業は

問 就労実績が5名とのことだが、町内の就労者か。また、年齢は。
答 産業課長 町内4名、町外1名で、20代から30代である。

公共交通ネットワークは

問 デマンド交通などの考えはなかったのか。

答 政策課長 本町は、住居の半径200mから300mにはほぼバス停がある。空白地帯はないので、デマンドの必要性はないと考える。

東日本大震災メモリアルモニュメント制作事業は

問 作者の嶋畑貢さんに制作を依頼した経緯は。

答 政策課長 プロジェクトチームを立ち上げ検討した結果、滋賀県大津市在住の彫刻家である嶋畑さんの作風が本町のモニュメントにふさわしいと判断した。



「虹の向こう」(葛蒲田浜)

定住化促進事業は

問 空き家を活用したU-Jターンの促進は。

答 政策課長 通常の入居募集は不動産屋を通すが、空き家の場合は中間を通さないといった事情があるため、本町では民間との連携を取っていない。その都度考えたい。

地域ブランド推進事業は

問 地場産品を「ブランド七ヶ浜」として認定しているが、商品の販売促進と効果は。

答 政策課長 ロゴマークのシールを貼り知名度の向上を図っている。また、ホームページへの掲載や販売店等へのぼりを配布し、販売促進を図っている。



ロゴマークでブランド力アップ

監視カメラ設置事業は

問 各地区への貸し出し状況は。

答 町民生活課長 申請期間は、3カ月を1回として8地区に4回貸し出した。



公営住宅入居者からの要望・要求は

問 高齢者からの改善等の要望要求が多くなってきた。十分把握し対応すべきと思うが。

答 建設課長 把握はしていないが、今後、把握する方法を検討したい。

国際村運営事業は

問 コスプレイヤーの利用が減ったことにより、収益が減ったが。

答 国際村事務局長 施設の利用が年々減っている。積極的にPRしたい。

問 コロナの影響でも収益は下がると思うが、PRだけでなく関係団体を通して企業誘致する考えはなかったのか。

答 今年、コロナの影響でゼロに近い。次の事業展開も見据えた予算であったが、いろいろ考えていきたい。

施設使用料の収益対策は

問 収益のために、イベントなどの対策は。

答 国際村事務局長 ホームページやフェイスブックを活用しながらPRしたい。また、コロナ禍の中ではあるが具体的な事業を展開していきたい。

特別支援教育支援員配置事業は

問 特別支援学級の児童生徒は今後も増加していくと考えられる。3つの小学校に5人の支援員を配置しているが、支援の内容と比べて支援員の数は十分なのか。

答 教育長 担任と話し合いをしながら、補助役の立場で取り組んでいる。本音としては十分ではないが、学校側の話を聞くと「大変に助かってる」との声もある。

効率的な保全計画を

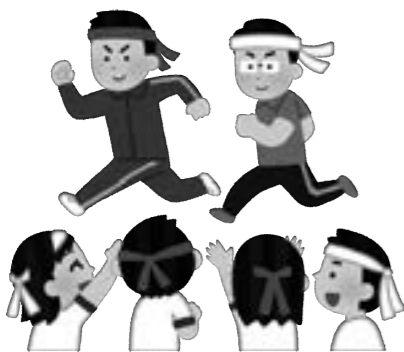
問 汐見小学校の外壁改修工事と一緒に、体育館の外壁改修をしないのか。

答 教育総務課長 要望がなかったためである。体育館を含め、保全計画を検討したい。

小学校・地区民合同大運動会事業は

問 314人の参加者で成果が大きいと評価しているが、人数が増えたのが成果ではないと思う。

答 教育長 中学校にも要請したが、中総体が控えていたので中1のみの参加となった。町民運動会に戻したらどうかという声もあったが、趣旨が違つ。推進委員会と協議したい。また来年は秋頃実施したいが、コロナの影響もあるので相談して決めたい。



図書センター管理運営事業は

問 新書は何冊購入したのか。

答 生涯学習課長 一般図書が291冊、児童図書155冊、DVD455枚である。

快適なキャンプ場の整備を

問 キャンプ場の利用者が増えているので、快適なキャンプ場の整備が必要と思うが。

答 生涯学習課長 土曜日や日曜日に、バーベキューの団体が利用したので増えた。トイレや管理棟炊事場等の改善が必要と考えている。調査し検討したい。



体育施設管理運営事業は

問 キャンプ場利用者のアンケート調査は。また、管理棟や水場の整備の考えはなかったのか。

答 生涯学習課長 アンケート調査は行っている。主にデイキャンプでの利用が多い。また、倒木やトイレの修繕にとどまっているので、今後リサーチしたい。

体育施設改善事業は

問 町民プールの改修工事を実施したが、プール内側面の鉄板に錆が見られるが。

答 生涯学習課長 改修工事は中間検査などを実施しながら進めた。過去2度ほど錆落としをしていくが弱くなっている。

各種会計決算額

会計名	収入	支出	差引額	採決の結果	
一般会計	85億8962万円	81億4662万円	4億4300万円	賛成11:反対2	
下水道事業	7億2883万円	7億1365万円	1518万円		
国民健康保険	21億6410万円	20億9822万円	6588万円		
介護保険	17億3754万円	16億9632万円	4122万円		
後期高齢者医療	1億9186万円	1億9013万円	173万円		
公園墓地事業	4551万円	4456万円	95万円	全員賛成	
水道事業会計	収益的 ^{*1}	5億450万円	5億1352万円	▲902万円	賛成11:反対2
	資本的 ^{*2}	1101万円	5296万円	▲4195万円 ^{*3}	

*1 収益的…経営に伴い、発生が予想される収入と費用
 *2 資本的…将来に備えて行う建設改良等の支出とその財源となる収入
 *3 不足分は積立金(留保資金)などで補てん

財源構造

区分	令和元年度	平成30年度	説明
財政力指数	0.58	0.59	自主財源で賄える運営経費の基準指数。大きいほど財源に余裕がある。
経常収支比率	98.3%	97.3%	人件費などの必要経費の割合。比率が低いほど、財政に弾力性がある。
経常一般財源比率	99.7%	100.9%	歳入構造の弾力性を表した指標。100を超えると余裕がある。


健全化4指標

区分	令和元年度	平成30年度	説明
実質赤字比率 15.00% ^{*1}	なし	なし	普通会計(一般会計と公園墓地会計)の実質的な赤字を示す割合。
連結実質赤字比率 20.00% ^{*1}	なし	なし	公営企業などを含む全会計に占める赤字の割合。
実質公債費比率 25.0% ^{*1}	0.5%	0.7%	自治体の収入に対する借金返済額の割合。
将来負担比率 350.0% ^{*1}	なし	なし	将来にわたる実質的負債「借金」の割合。

*1 早期健全化基準の指標です。1つでも超えると歳入増加や歳出削減などの財政健全化計画を策定しなければなりません。

監査の意見

代表監査委員
遠藤均さん



一般会計の決算規模は、前年と比較すると下降しており、東日本大震災前の平成22年度と比較すると歳入が14倍、歳出も14倍に増加している。

今後の財政運営は、引き続き東日本大震災関連の予算編成となることから、復旧・復興に向けた中長期的な展望のもと、経常経費の抑制と点検を行い、限られた財源を重点的、効率的な配分と計画的な事務事業の推進を望む。

また、この度の審査において、項目により不用額も多く、さらには不用額が支出額を大きく上回っている。今後は不測の事態に備えるもの以外について、適切な予算の計上および執行を望む。

討論



…なので反対します

…なので賛成します

一般会計

反対 歌川 渡

次の点で反対する。

① 部において町条例や要綱に照らした事業が行われていない。

② 地球温暖化対策等の取り組みに逆行している石炭火力仙石パワーステーションの稼働中止を求める。

③ 町営住宅入居に係る単身者の年齢制限を廃止すること。

④ 保育所の待機児童を解消すべき。

⑤ 不登校の児童生徒の状況に応じた学習支援を行うべきである。

⑥ 復興基金や復興交付基金を除く基金は、予算を大きく上回る決算となっており、計画的に運営すべきである。

賛成 佐藤 衛

次の点で賛成する。

① 自主財源の重要な柱である町税は、昨年同様、高水準の徴収率である。

② 宮黒鍋まつりの開催等、新しい企画で来場者が増加するなど、商工業や観光振興に大いに寄与している。

③ 第1次産業従事者不足対策を講じ、新規就労者が確保できたこと。

④ 向洋中学校のトイレ改修や小中学校の空調設備設置など、教育環境の向上を図っている。

⑤ 町学校教育センターを設置し不登校の児童生徒に学習支援を行っている。

下水道事業

反対 歌川 渡

歳出で削減された分を、一般会計からの繰り入れ額の削減に充当し、町民に還元していない。

賛成 遠藤久和

歳入歳出共に、前年度と大きな増減がなく、計画的に施設改修し、効率的に事業が進められている。

国民健康保険

反対 歌川 渡

過大な積み立ては行つべきではなく、国税の引き下げを行い、納税者の負担軽減をすべきである。

賛成 渡邊 淳

きめ細かな保健指導や運動施設利用等工夫した事業を実施している。総合健診の受診率を向上させ各種疾病の予防が効率的に図られている。

後期高齢者医療

反対 歌川 渡

この制度は少子高齢化が進むほど高齢者の保険料の負担が増えていく制度である。国に対し同制度の早急な廃止を求めるべきである。

賛成 佐藤 壮一

被保険者は令和元年度も増加している。県の窓口業務である本事業は適正かつ適切に行われている。

介護保険

反対 歌川 渡

高齢者の負担が増えるばかりの制度であり、介護保険サービスの削減が行われ、大きく後退している。利用料の軽減を図るべきである。

賛成 熊谷明美

高齢者等の自立支援や要介護状態の重度化防止、地域共生社会の実現への取り組みなど、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくりに努めている。

水道事業会計

反対 歌川 渡

積立金の計画的取り崩しを行い利用料金の引き下げを行うべきである。水道管敷設工事は起債が認められており、新たな建設改良積立を行うべきではない。

賛成 渡邊 淳

水量減に伴い配水量の減少は赤字の内容だが、過年度の留保資金で対応し、町民に安全安心な水の安定供給を、実施している。

※公園墓地は反対なく全会致で可決

工事変更契約

工事名：令和元年度長須賀多目的広場整備工事
 契約先：グリーン産業株式会社 仙台営業所
 金額：2億8335万円（1077万円の増額）
 工期：令和3年1月29日
 理由：広場内への場内放送設備の追加、ハナモモ、シラカシ、ハマギクの植栽工、管理棟外構の舗装工等の増額によるものです。

工事名：令和元年度長須賀多目的広場整備工事（2工区）
 契約先：株式会社大政産業
 金額：2億6528万円（678万円の増額）
 工期：令和3年1月29日
 理由：広場内への場内放送設備の追加、盛土工の増工等によるものです。



専決処分の報告



工事名：（工事請負変更契約）台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事
 契約先：株式会社ウォーターエージェンシー 東北中央営業所
 金額：9378万円（281万円の増額）
 工期：令和3年1月29日
 理由：台風・大雨等の影響により電気室が浸水した場合に備えポンプ施設の運転継続を確保するため、仮設動力制御盤を設置するものです。

工事名：（工事請負変更契約）令和2年度長須賀多目的管理棟新築工事
 契約先：有限会社遠藤工務店
 金額：5864万円（368万円の増額）
 工期：令和3年1月29日
 理由：多目的広場内へのアナウンス用のスピーカー設置工8カ所、Wi-Fi設備工の増工によるものです。



地方税財源の確保を

議案審議

議員提出議案

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出

内容
 新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、国民生活の不安も続いており、地方税地方交付税等も大幅に減少することが予想される。

地方自治体は、福祉医療、教育子育て、防災・減災、地方創生、地域経済活性化、雇用対策など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、今後の地方財政はかつてない厳しい状況になることが予想される。

このような状況下において、地域の実情に応じた行政サービスを安定的かつ持続的に提供していくために、地方税・地方交付税の一般財源総額の確保充実を、国に対して強く求めるものである。

提出先
 衆議院議長
 参議院議長
 内閣総理大臣
 財務大臣
 総務大臣
 厚生労働大臣
 経済産業大臣
 内閣官房長官
 経済再生担当大臣
 まち・ひと・しごと・創生担当大臣

採決の結果
 反対なく全会一致で可決



条例改正

●手数料徴収条例の一部改正

内容
 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正による個人番号の通知カードの廃止に伴い、当該通知カードに係る手数料を廃止する必要があり、所要の改正を行うものです。また、その他文言整理を行うものです。

採決の結果
 反対なく全会一致で可決

水道事業会計

●令和元年度未処分利益剰余金の処分

内容
 令和元年度利益剰余金5000万円を建設改良積立金に積み立てるものです。

採決の結果
 反対なく全会一致で可決

人事

任期満了に伴い、議会の同意を得て任命されます。

監査委員（新任）
 稲妻 敏行さん（赤楽）



任期
 令和2年10月1日から
 4年間

教育委員（新任）
 鈴木由佳莉さん（吉田浜）

任期
 令和2年10月1日から
 4年間

固定資産評価
 審査委員（再任）
 山田 芳司さん（汐見台）

任期
 令和2年10月1日から
 3年間

人権擁護委員の推薦

人権擁護委員は、議会では同意されましたが、任命は12月になるので、次回の議会だよりに掲載する予定です。

正算 補正

タブレット端末購入代に予算計上

令和2年度一般会計補正予算（第4号・第5号）は、歳入歳出にそれぞれ16億8260万円を追加し、総額を113億5279万円としました。主なものは、新型コロナウイルス対策費や国に対する復興予算残余额の一部返還などです。本議案は原案のとおり可決しました。

質疑

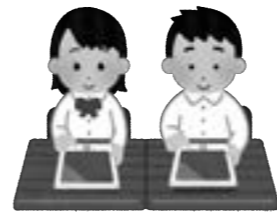
タブレット端末
（小中学校）購入代
（5112万円）

問 タイピングの練習ができるノートパソコンではなく、タブレット端末を選んだ理由は。

答 教育総務課長 G-1 G Aスクール構想で整備するのは、タブレット端末が想定されている。

問 仙台市では、クロームブックといったキーボードが付いたノートパソコンタイプのタブレットを検討しているようですが、本町では検討していないのか。

答 他市の状況は把握をしていないが、クロームブックもタブレット端末であると認識している。



新型コロナウイルス対策
教育体制緊急整備および
環境整備事業費
（7112万円）

問 教員および保護者への説明は行ったのか。

答 教育総務課長 教員には、来年度に向けて今年度中に準備していく。また、保護者への説明はしていないが、コロナウイルス関連の事業ということを広報等で紹介している。

問 インターネットの整備計画および費用負担は。

答 オンライン負担の貸与規定等を整備するにあたり、本町が負担するのか保護者が負担するのかを近隣の自治体の状況や全国の状況を見ながら検討していく。

問 授業過程のカリキュラムは作られているのか。

答 基本的には十分にタブレットを使って授業を展開していきたいと考えている。

県では「令和4年度までにICT支援員を4校に1人程度配置する」とあるが、それまでの体制は十分と考えているのか。

答 予算や費用対効果が組み合えば、配置することも考えられるが、現段階では支援員に来ていただき、教員の研修等の実施を想定している。

オリンピック・
パラリンピック
ムーブメント事業
（14万円）

問 向洋中が選ばれた理由と事業の内容は。

答 教育総務課長 県教育委員会から全国への展開事業があると各学校に照会があり、これにのこった事業をやりたいと手を挙げたのが向洋中である。事業内容は、向洋中の体育祭の中で生徒が聖火リレーを行って、オリンピック・パラリンピックを盛り上げる内容となっている。

国際村
オンライン配信
システム構築工事
（400万円）

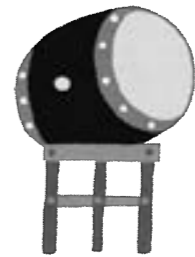
問 国際村内全てのエリアで使えるシステムなのかそれともホールだけに固定して使うシステムなのか。

答 国際村事務局長 コロナの影響で住民や国際村事業協会の文化芸術の発信がままならないため、それを改善するために各施設、貸館を含め全ての施設にLANケーブルを配線し、オンラインシステムを構築し広く利用できるようネットワーク化を図る工事である。

心と体の
健康イベント支援
（600万円）

問 イベント内容と委託先は。

答 国際村事務局長 事業協会への補助金で、太鼓パフォーマンスに対する公演の委託である。さらにライブ配信等の業務委託を予定している。



公園等施設
清掃委託料
（12万円）

問 清掃の場所と委託内容は。

答 産業課長 公衆トイレの清掃である。吉田浜と代ヶ崎浜を新たに加えた。

高齢者インフルエンザ
予防接種委託料
（800万円）

問 対象人数と無料である内容の周知方法は。



国に対する返還金
（14億2300万円）

問 各地区の開発に対して検証を行ったのか。

答 復興推進課長 今年度中に全64事業を検証し、完了した事業の結果を公表する。

吉田浜地区
コミュニティセンター前
防災行政無線線局
災害復旧工事
（530万円）

問 前もって避雷針等の対策を十分に行うべきだったのではないのか。

答 防災対策室長 確かに避雷針は設置されていないが、雷はどこに落ちるか分らない。今後、調査し対応していきたい。



落雷の被害を受けました

討論

反対 歌川 渡

次の点で反対する。
①ICT（情報通信技術）を活用した教育は、将来的に必要なかも知れないが、今期での計上はコロナ禍につけこんだ時期尚早の端末整備事業費である。
②少人数学級を実施し多様な子ども達に向き合える教育環境を整えることが先決である。
③現在の教育カリキュラムから照らして、日常的に十分活用できる教育環境整備がされていない。
④現場の教師や保護者の十分な話し合いや合意もされていない。

賛成 佐藤 衛

次の点で賛成する。
①今回の補正の主なものは、東日本大震災復興交付金基金に係る残余额の返還である。復興事業の終息に向かつており評価する。
②新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による新規事業としてGIGAスクール構想に伴う端末整備事業の中で、幅広い学習展開が可能となり評価する。
③65歳以上の高齢者に無料のインフルエンザ予防接種事業の補正に対し評価する。
④口タウイルスワクチンの定期予防接種予算の補正等が計上されている。

お も な 内 容

一般会計		補正額
歳入	地方交付税	3億4467万円
	国庫補助金	8762万円
	県補助金	2656万円
	基金繰入金	10億9438万円
歳出	役場庁舎改修工事等	▲3618万円
	財政調整基金積立金繰越分へ追加	1億1314万円
	新型コロナウイルス対策等に係る費用	14億2224万円
	タブレット端末購入代と設定委託にかかる費用	7112万円



ズバリ

町政を問う

一般質問一覧表

9月会議の一般質問は、9月1日に行い6人が活発な議論を展開しました。
内容は質問者の原稿を原文に近い形で18~23ページに掲載しています。
なお、タイトルは通告のとおりです。

熊谷 明美 …… 18ページ

- 赤ちゃん応援パッケージ支援事業の拡充を
- インフルエンザワクチンの65歳未満接種料の一部助成を
- 発熱外来の設置を近隣市町と検討を

小林 倫明 …… 19ページ

- 災害発生時の情報の発信方法について

木村 稔 …… 20ページ

- 非課税世帯への福祉灯油助成(燃料助成含む)について
- 後付け安全運転支援装置設置費の助成について
- 介護保険料の所得段階について

遠藤 久和 …… 21ページ

- 道路の危険箇所への対策について

歌川 渡 …… 22ページ

- 介護報酬のコロナ特例に伴う利用者負担増額分の支援を
- ロタウイルスワクチンの定期接種の無料対象児の拡大を
- 学校の新しい生活様式に基づく、「レベル2・3」地域の学級編成を

佐藤 直美 …… 23ページ

- GIGAスクール構想について
- 小中学校少人数学級化について
- 海岸及び、近隣駐車場等の散乱ごみ防止策に伴う、ごみ箱設置とパーベキュー場の開設について

一般質問とは…

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や、将来の方針について、所信や疑問をただすこと、あるいは報告や説明を求めることを言います。

※傍聴される方には、一般質問の要旨が記載された資料を配布しております。

令和2年定例会 9月会議 提出議案採決結果一覧 (9/1~9/11)



9月会議では、人事や条例改正および補正予算、工事請負変更契約などの議案を審議しました。
賛否が分かれた案件を採決一覧表に、全会一致の案件は名称のみ掲載しました。
なお、議案名は略して記載しています。

●賛否が分かれた議案等等

議案名	掲載ページ	賛成	反対	議決結果	佐藤直美	小林倫明	仁田秀和	木村稔	熊谷明美	佐藤壮一	安倍敏彦	遠藤喜二	渡邊淳	遠藤久和	佐藤梶信	歌川渡	佐藤衛	岡崎正憲
人権擁護委員の候補者の推薦(新任)	10	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
監査委員の選任	10	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度一般会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度下水道事業特別会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度国民健康保険事業特別会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度介護保険特別会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度後期高齢者医療特別会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—
令和元年度水道事業会計決算	8	11	2	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	○	—

○賛成 ●反対 議長(岡崎正憲)は採決に加わらない。

●全会一致の議案等

条例改正ほか	掲載ページ
○手数料徴収条例の一部改正	10
○令和元年度公園墓地事業特別会計決算	8
○令和元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	10
○令和元年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告	9
○(議員提出)新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出	10

工事請負変更契約	掲載ページ
○「令和元年度長須賀多目的広場整備工事」	11
○「令和元年度長須賀多目的広場整備工事(2工区)」	11
○(専決処分)「令和2年度長須賀多目的広場管理棟新築工事」	11
○(専決処分)「令和元年度台風19号に伴う小田汚水ポンプ場災害復旧工事」	11

補正予算	掲載ページ
○令和2年度一般会計補正予算(第4号、第5号)	12
○令和2年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	—
○令和2年度公園墓地事業特別会計補正予算(第1号)	—
○令和2年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	—
○令和2年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	—

人事関係	掲載ページ
○人権擁護委員の候補者の推薦(再任)	10
○教育委員会の委員の任命	10
○固定資産評価審査委員会の委員の選任	10





こばやし みちあき
小林 倫明

災害発生時の情報の発信方法は

町長 町公式Twitterの整備を進めている

問 インターネットの普及によりスマートフォン等で、移動しながらの情報収集や発信等ができる環境が整っている。町からの素早い情報の伝達で、早期の避難や対処が可能であると考えられる。町内外に居る町民の方々に、どのようなプロセスで情報の提供を行うのか。

答 町長 大雨や土砂災害に関する防災情報の、5段階区分警戒レベル3の避難準備および、高齢者等避難開始情報を発表した際や津波警報などで避難所を開設した場合、防災行政無線や町ホームページ、エリアメール、さらに県総合防災情報システムを活用し、周知をしている。

問 災害時に町から提供する情報の内容は、災害の種類にもよるが、大雨や土砂災害に関する防災情報の5段階区分として、警戒レベルの公表や避難所の開設状況、道路の冠水状況などを周知している。

答 町長 自主防災会から提供してもらう情報の種類は、避難所開設の有無や避難者数、避難者の情報である。また開設の際には、連絡員として町の職員を最低でも1名避難所に配置し、避難所の状況やその他について連絡を行う。

問 防災メールとして、希望する町民の方々に直接情報を提供する考えはないか。

答 町長 現在、町公式Twitterで災害情報を発信できるように整備を進めている。

問 防災の拠点である本庁舎や公民分館などの避難所に、公衆無線LANを設置し、電話連絡や情報収集が各自でできる環境を整える考えはないか。

答 町長 本町では、平成29年度の総務省補助事業「防災等に資するWiFi環境の整備」を活用し、公衆無線LANサービスを提供している。この際に、拠点避難所となる小中学校の体育館や指定避難所への公衆無線LAN整備も検討したが、平時における利用が多くないことや通信費用も掛かることを理由に見送った経緯がある。

問 現在、町のページには防災・緊急情報等のアイコンがないが、災害発生時に差し替えが可能なのか。

答 町長 現在運用している方式は、災害発生時に町のホームページのトップに、専用のページを掲載している。



町公式Twitter運用開始

インフルエンザワクチン接種料の助成拡充を

町長 65歳以上の自己負担をなくすよう対応する



くまがい あけみ
熊谷 明美

問 冬季に向けて、インフルエンザの流行が心配される。インフルエンザは新型コロナウイルスと見分けがつかず、PCR検査等で判断することになる。しかしPCR検査を受けることもままならない県内の状況では、ワクチンがあるインフルエンザの予防に目を向け、罹患するリスクを少しでも下げるべきである。厚労省が考えるワクチン接種の優先順位はあるが、希望者が接種を受けやすいように、65歳未満の希望者へ接種料の一部助成を考えないか。

答 町長 積極的に接種料助成をした場合、ワクチン不足に陥り、重症化しやすい高齢者の接種に影響を及ぼしかねないことも考慮し、個々の対応をお願いしたい。

問 65歳以上の人は現在20000円の自己負担となっている。負担額を減額する考えはないか。

答 町長 自己負担をなくすべく、補正予算を増額し対応する。

問 65歳以上の自己負担は現状のままだが、65歳未満の人にも一部助成を決めた自治体があるが、本町は考えないか。

答 町長 健康福祉課長 本町は、65歳以上の人を全額無料にし、なるべく多くの高齢者に接種してもらうことで、重症化を防ぎたい。

問 新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金を活用して「赤ちゃん応援パッケージ支援事業」が実施される。この事業は、令和2年4月28日以降に出生した新生児に対するもので、本町は給付金5万円と育児用品等の支給としている。内容は自治体ごとに違いがあり、複数の自治体で現金10万円を支給する所があり、不公平感が出ると思われる。支援の内容を拡充する考えはないか。

答 町長 育児用品支給は、保健師の個別訪問と合わせた形で実施すること、一人一人の不安や悩みを把握し、必要であれば個別指導につなげる内容である。コロナ禍において、安心して子育てができる環境づくりを目的として、子育てをサポートしていく。



コロナ禍では、お買い物に出るのも心配（内容は多少異なります）

※その他にもいろんな質問をしました。「発熱外来の設置を近隣市町と検討を」

赤ちゃん応援。パッケージ支援事業の拡充を

町長 バランス良く

きめ細かく対応する

問 不公平感を軽減するために、ドラッグストアやスーパーマーケット、タクシー等でも利用できる新生児クーポン券等を発行し、内容を拡充する考えはないか。

答 町長 長いスパンで状況を見ていきたい。金額だけでなく、バランス良く、幅広く、きめ細かく対応する。現在、交付金等を

問 使つての子育て関連支援事業は、全体の2割以上となっている。

答 町長 子ども未来課長 おむつ、おしりふき、ウエットシートの蓋、ベビーポーチ、タオル、よだれかけ、除菌シートである。

ひとロメモ

ツイッターとは
「ツイート」と呼ばれる半角280文字以内のメッセージや画像、動画、URLを投稿できるSNS。町の公式アカウントをフォローし、アカウント通知を設定することで、災害発生時に情報をスムーズに受け取れます。



えんどう ひさかず
遠藤 久和

危険交差点へ対策を

町長 早急に対処したい

問 議会報告懇談会において、交通事故が懸念される場所への安全対策を定例会3月会議にて質問した。
危険箇所多くの共通点は、自動車のスピード抑制の問題であり、**立体路面標示**の対策も有効ではないかと提案した。しかし、住民の要望である信号機設置や横断歩道の設置などは現況においては対応が難しい点が多い地区の方々の要望が強い3カ所の対策を伺う。
①菫蒲田の中田団地方面からの県道との交差点
②笹山地区から下った小豆浜との丁字路交差点
③汐見台郵便局と役場方面からの丁字路交差点

立体路面標示



答 町長 私も実際に現場確認し、危険であること認識した。しかし県道との関わりがあり時間が必要である。
問 時間がかかるというが、どの位の時間なのか。本町は8年間死亡事故ゼロと報道されたばかりだが、明日事故があるかも知れない。このような狭い町の中で事故の加害者や被害者を発生させるようなことは、あってはならない。さまざまな対策をするべきではないのか。
答 県道への対策に時間が必要だが、町道への対策は早急に対処したい。

②



①



③



スピードの抑制を願って

高齢者等の非課税世帯に対し灯油代の一部助成を

町長 現時点では考えていない



きむら みのり
木村 稔

問 冬期間の暖房用の灯油代は、高齢者等の非課税世帯にとって経済的負担が大きく、厳しいものとなっている。町では平成19年度と平成27年度に非課税世帯等に対し燃料助成利用券を発行していた。
今年の冬に再度、高齢者等の非課税世帯に対し灯油代等の一部を助成する考えはないか。
答 町長 例年と比較して燃料高騰の状況ではない。また、国や県による補助金や交付金の動きもなく、現時点において灯油代等の燃料助成は考えていない。



問 今年は、高齢者が新型コロナウイルスの影響により、室内で過ごす時間が過去にないほど多くなるのではないかと。昨年とは違い、光熱費に財政的体力が消耗されることが十分に予想される。今年の冬に向け、高齢者を含めた非課税世帯への生活支援を行う考えはないか。
答 現時点では考えていない。

安全支援装置設置費用の一部助成を

町長 国の制度を調べながら検討を加えていきたい

問 高齢者の普通自動車免許保有者数を本町では、把握しているのか。
答 防災対策室長 65歳〜69歳の免許保有者数は、13022名で、70歳以上の免許保有者数は2026名である。

問 高齢者ドライバーの運転を支援するため、自動車への安全支援装置（既販車に後付けで設置する国土交通省の性能認定を受けているペダル踏み間違い急発進等抑制装置）設置費用の一部を助成する考えはないか。
答 町長 県内では、ひとつの自治体が高齢者に対し、自家用車に後付け安全支援装置を設置

した場合に補助金を交付している。本町においては、現在、ドライビングシミュレーターにより、運転意識の向上や交通事故の減少対策、さらには運転寿命の延伸のための取り組みを実施しているところであり、国の制度を調べながら検討を加えていきたい。

問 65歳以上の介護保険料で300万円と500万円未満を同じ所得階層に入れた理由は。
答 長寿社会課長 国の基準では、9段階目が最上位の所得階層（300万円以上）である。しかし、本町は9段階目に300万円〜500万円未満を加え、それに10段階目（500万円以上）を追加し1段階増えたためである。

問 300万円の所得の方からすれば、約500万円の方との所得の開きで同じ保険料を賦課されることに違和感が生じるのは当然ではないか。単年度でみた場合、所得の開きの差は約200万円だが、65歳から70歳までの5年間働いた場合、極端な一例にはなるが、300万円の方の所得総額は約1500万円になるのに対し、約500万

円の方は約2500万円である。その差は約1000万円にも及ぶ。適正な階層別の応能負担というものを考えた場合、平等で適正と言えるのか。
答 あくまでも国の所得階層は9段階である。本町では、それに10段階目を追加した。



佐藤 美奈直

G Suite for Education の活用方法は 教育長 一斉学習や共同学習、個別学習で活用できる

問 GIGAスクール関連事業等によるICT環境の構築に必要なタブレット端末を、児童生徒全員が活用できるように整備し、G Suite for Educationを活用していくとのことだが、具体的にどのように活用していくのか。

答 教育長 大きく分けて3点に整理できる。1つ目は斉学習。タブレット端末に意見や考えを述べ、次にお互いの意見や考えを見ながら一つの課題解決に向けて、主体的対話的、スピーディーに双方向型に活用できる。2つ目は共同学習。グループ学習で分担や共同作業による作品の制作等に活用できる。3つ目は個別学習。一人一人の習熟の程度に応じた学習や情報収集写真

問 今後、何らかの要因で臨時休業の措置を取った場合、配布予定のタブレット端末を利用した学習を行うことも考えられるが、インターネットに接続できない家庭への対応は。

答 家庭でのオンライン学習を行う場合、現段階では全児童生徒にタブレット端末を配布するのではなく、全くインターネットに接続するための機器を保有していない家庭などに限定する予定である。

問 端末の貸与規定を作成する中で、モバイルWi-Fiに関して検討する。仮に町でモバイルWi-Fiを準備し貸与する場合でも、毎月の通信料の費用負担が発生する。その負担は利用者なのか町なのか、利用者の負担の場合、保護者の理解が得られるのか、町負担の場合、他の家庭の通信料負担との不公平が生じるがその対応は、などいろいろと検討する必要がある。今後、先進事例等を参考にしながら対応策について検討していきたい。

問 海水浴場や近隣駐車場等には、ごみの持ち帰りを啓発する看板は設置されているが、効果がなくなっている。多くの町内外の方がボランティアで浜清掃を行ってくれているが、ごみを投棄していく人が後を絶たないため、ごみが散乱してしまっている。人々の道徳心に頼って「ごみは持ち帰ってください」というごみ箱設置の考えは。

答 町長 本来自分で持ち帰るべきと考えており、町が設置する考えはない。砂浜におけるごみ等に関しては海岸管理者である県に回収する責務がある。管理する仙台土木事務所を設置等を含め相談した

問 バーベキュー用具や食品、食べ残しの投棄が後を絶たない。散乱ごみを減らすため、浜辺でバーベキューを楽しむ人のためにも、有料バーベキュー場を開設する考えはないか。

答 海岸管理者を含め各関係団体と意見交換を行う必要がある。課題や問題点を踏まえた上で今後、必要な施設なのかどうか、意見交換をしていきたい。

G Suite for Education とは
グーグル社が教育機関向けに提供している無料の学習用クラウドサービスです。すべてのファイルがインターネットを通じて管理されています。

※その他にもこんな質問をしました。
「小中学校少人数学級化について」

コロナ特例による介護利用者負担増分の支援を 町長 増額分の補助の考えはない 国の動きを注視したい



うたがわ わたる 歌川 渡

問 介護報酬の上乗せを認める特例措置とは。

答 町長 厚労省の通知で、利用者の同意があれば、介護報酬区分を2区分上位算定できること。

問 要介護3でデイサービスを（1回7時間〜8時間）利用した場合の通常の介護報酬額と特例措置の介護報酬額は。

答 通常介護は、8970円。特例措置で9520円と650円増となる。

問 月12回利用した場合、通常および特例措置の介護報酬額は。

答 通常介護は10万6440円、特例措置で10万9040円である。特例は4回までの算定で、5回目以降は通常報酬算定となる。

問 感染防止に係る費用を「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」等で対応すべきではないのか。

答 国から県を通じ、支援がある。感染症対策に必要な物資の確保、対象経費支援でこちらを活用してもらいたい。

問 利用者負担の増額分を町独自支援で行う考えは。

答 まずは利用者の同意が必要である。介護報酬の増額分を、利用者負担とするのは問題があると考ええる。独自支援の考えはない。

問 10月から運用が始まるが、国は接種が14週6日まで有効と言いつつながら、8月以降の出生児に定めている根拠は。

答 町長 予防接種法施行令の一部改正する政令に基づくもので、有効性や安全性が理由である。

問 公費として定期接種する前の接種費用の平均額

答 町長 予防接種法施行令の一部改正する政令に基づくもので、有効性や安全性が理由である。

問 任意接種であり、町では把握していない。今後の定期接種費用は概算で今回の補正に計上している。（141万9千円）

答 町長 令和元年および令和2年直近月の接種状況は、任意接種であり、把握はしていない。

問 令和元年および令和2年直近月の接種状況は、任意接種であり、把握はしていない。

問 出生後14週6日以前生まれ（6月19日以降）の乳児への接種を町独自支援する考えは。

答 予防接種法に基づき、費用等は厳格に定められている。町独自支援は、ワクチンの有効性や安全性から適当ではないと考えている。

問 国が示したレベル2・3を実施するには、現年度で試算すると教員の加

答 教育長 レベル1で、生活圏内の状況が感染観察都道府県に相当する感染状況である地域のうち、レベル2に当たらない地域である。

問 町長 財政面や教員確保の面から難しい

答 身体的距離の確保で、座席の確保はできるだけ2人程度確保し、最低1人となっている。1人を基準に照らすと小中学校で9人の増員が必要となる。また、亦小3人、松小1人、汐見小1人、七中1人、向洋中3人となる。

問 教員加配に必要な人件費は。

答 町独自による少人数学級を実施する考えは。

問 感染症予防に伴う座席間距離の確保の少人数学級が望ましいということ

答 十分理解できる。財政面や教員確保の面から、独自実施は難しいと考えている。

**ロタウイルスワクチンの定期接種の無料対象児の拡大を
法に基づき厳格に定められている**

町長 法に基づき厳格に定められている

問 国が示した「新しい生活様式」を踏まえた、学校の行動基準に伴う本町の感染レベルは。

答 教育長 レベル1で、生活圏内の状況が感染観察都道府県に相当する感染状況である地域のうち、レベル2に当たらない地域である。

問 町長 財政面や教員確保の面から難しい

答 身体的距離の確保で、座席の確保はできるだけ2人程度確保し、最低1人となっている。1人を基準に照らすと小中学校で9人の増員が必要となる。また、亦小3人、松小1人、汐見小1人、七中1人、向洋中3人となる。

問 教員加配に必要な人件費は。

答 町独自による少人数学級を実施する考えは。

問 感染症予防に伴う座席間距離の確保の少人数学級が望ましいということ

答 十分理解できる。財政面や教員確保の面から、独自実施は難しいと考えている。

委員会レポート

これも議会の仕事です

●8月18日に特別委員会を開催し、担当課長から対策事業の説明を受けました。
主な事業は次のとおりです。

町民の皆さまには、今まで以上の「手洗い」「ソーシャルディスタンスの確保」「マスクの着用」「3密の防止」などの徹底をお願いいたします。

コロナ対策

マスクの着用や飲食店での「3密」防止対策の徹底を

町内でも、小学校の児童の感染や「ぐるりんこ」の運転手の感染が確認されておりあります。

9月13日、県知事と仙台市長は共同記者会見で、マスクの着用や飲食店での「3密」防止対策の徹底を強く求める緊急声明を出しました。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

町内でも感染拡大
知事、緊急声明「みやぎアラート」の
レベルを2から3に引き上げ

教育総務課

○学生生活維持支援金事業

大学や短大、大学院、高等専門学校（4・5年生）、専修学校専門課程に在籍している学生に対し、5万円の支援金を支給します。

○GIGAスクール構想に伴う端末整備事業

ICT環境の構築に必要なタブレット端末を、児童生徒全員が活用できるように整備します。

○スクールサポートスタッフ配置事業

小中学校の消毒作業を外部委託し、教職員の負担を軽減します。

政策課

○高校生就職支援事業

塩竈地区（二市三町）内の高校卒業生（令和3年3月卒業）を採用する、同区域内の事業者に対し奨励金を支給します。

子ども未来課

○あかちゃん応援バツケジ支給事業

令和2年4月27日後に出生した新生児に対し5万円を支給します。また、育児用品をパッケージとして支給します。

町民の声

●高齢化社会のことも気になります。海辺の町としては海洋汚染対策をしっかりとしてほしい。（女性）

●「ぐるりんこ」バスの本数を増加してください。下馬バス停の午後5時前後の本数を増やしてほしい。（女性）

●多賀城駅への「ぐるりんこ」バス時刻ですが、できれば、仙石線との連携をお願いします。（女性）

●これからの七ヶ浜を、明るい町にするために知恵を出し合ってくださいと思います。頑張ってください。（女性）

●震災から間もなく9年になります。近年は、新しい災害が増え不安になるばかりです。また、高齢化が進んでおりますので、被災者（特に公営住宅入居者）への家賃支援を考えてほしいと思います。（女性）

●年齢制限で、PCR検査をしてほしい。仕事をしていた不安です。（女性）



●水道の民営化には反対です。町民の負担になるのが不安です。二人暮らしなのに、毎月の水道料金は高いです。（女性）

●議員の皆様、コロナ禍で大変ですが頑張ってください。（女性）

●議会だよりは、とても分かりやすいです。これからも読み続けます。（女性）

●議員さん一人一人が、住民の生の声に耳をかたむけ、苦労されておられるかもしれないが、今後も、我々住民のためよろしくお願いたします。（女性）

防災対策室

○災害避難所感染症対策環境整備事業

1回目の購入は、間仕切りと床マット1500セットやタンボールベッド300個、アルミヘッド3000個、備蓄倉庫2台の他、防護具セット1000セット、非接触型体温計50個、消毒液1300個です。

2回目の購入は、各区避難所用の防災倉庫、除菌加湿器、検温用テント、隔離用テントと、その他フェイスマスク、ゼリー備蓄食、ペーパータオル等です。

長寿社会課

○高齢者配食サービス事業

75歳以上の単身および75歳のみで構成された世帯に対して、10月から毎月1回配食します。また、お土産品などの配布（1回）を予定しています。

●9月16日に特別委員会を開催し、次のとおり町当局に申し入れました。
・児童や教職員等へ、早くPCR検査を実施すべきである。
・濃厚接触者がいないという保健所の回答に対し、詳細な説明が必要である。
・児童等へのケアが必要である。

議会報告・懇談会を開催します



開催日	時間	会場	対象地区	班
11月14日 (土)	午後 1:30~2:30	菖蒲田浜地区避難所	菖蒲田浜	1班
		花洲浜地区避難所	花洲浜	2班
		代ヶ崎浜地区避難所	代ヶ崎浜	3班
11月15日 (日)	午後 1:30~2:30	湊浜地区避難所	湊浜	1班
		汐見台第2公民分館	汐見台	2班
		汐見台南第2集会所	汐見台南	3班

班編成	メンバー
1班	・歌川 渡 ・渡邊 淳 ・遠藤喜二 ・仁田秀和
2班	・佐藤梶信 ・佐藤壮一 ・熊谷明美 ・小林倫明
3班	・遠藤久和 ・安倍敏彦 ・木村 稔 ・佐藤直美



※議会だよりNo.145をご持参願います。
当日検温し、熱がある場合や体調が優れない方はご遠慮願います。また、会場へお越しの際はマスクの着用をお願いいたします。

クイズに寄せられた 皆さんからのコメント

令和元年7月から令和2年10月までにいただいた内容の一部を紹介いたします。

総務産業

総務産業常任委員会

町有地の利活用について

昨年9月から取り組んできました「地方交通対策について」は調査を終了し、次に「町有地の利活用について」を所管事務調査といたしました。まずは、町有地の現状を把握するため、7月31日に担当課から説明を受けました。



町有地は、地目で「宅地」「山林」「原野」「雑種地」と各地区に広く点在していますが、未利用地の利活用となると、使用目的が限られてきます。今後も、引き続き調査研究をし、未利用地の利活用のために、取り組んでいきたいと考えております。

教育民生

教育民生常任委員会

国際村外壁改修工事

放課後児童クラブの運営について

今回の所管事務調査は2件あり、1件は「国際村外壁改修工事」を取り上げました。

既に工事は完了しておりましたが、工事内容を現場で説明を受けました。今後の屋根修繕予定の箇所に太陽光パネルが設置されており、通常の屋根工事以外に何らかの工夫が必要と予想されました。今後の修繕計画を注視する必要があります。

もう1件は「放課後児童クラブの運営について」が調査課題です。

すでに指定管理者制度で運営されておりますが、指定管理者制度を導入する際もいろいろな不安材料がありました。これらを基本に町と指定管理者の関わり方や協議内容等をアンケート調査の形を取り、追跡していく必要



国際村での現地調査

があると委員会ではまとめられました。このアンケートは、事業者に雇用されている方と利用者側から意見を聴取したいと思い、現在内容の検討を実施しております。調査の手法としては、紙ベースとインターネットを用いてアンケートを実施できるよう考えております。

議会運営

議会運営委員会

9月会議の円滑運営のため、会期や各議案を審査しました。また、議会運営委員会では、議会活性化特別委員会と調整し、以下の5項目を所管事務調査として実施しております。

- ① 政務活動費の使途の改善について
- ② 議会ICT化について
- ③ 費用弁償の在り方について
- ④ 意見書を付す決議の意味と手法について
- ⑤ 請願陳情の現状と今後について



利府町での取り組みを調査

以上の5件以外も都度案件があれば臨機応変に対応していきます。進捗状況としましては、①の先進地視察として、利府町への調査と④の付帯意見書を付して決議している大郷町を調査箇所にし、9月30日に実施し

議会活性化

議会活性化検討特別委員会

議会基本条例や倫理条例について

現在、当委員会では議会基本条例や倫理条例の導入の必要性を審議しております。

7月3日には、東北大学大学院の河村和徳准教授を講師に招き研修会を開催しました。

これまで各委員から多くの意見がありましたので、以下にまとめて一部を掲載いたします。
・町民の声を聴くために、PTAや高校生、女性限定等との講話会の開催を検討すべき
・倫理条例は議会や議員の品位を相対的に高めることができる
・新人議員研修会開催を検討してはどうか
・住民意見を汲み上げるシステム構築が必要では
・災害や感染症に対する議会BCOP（事業継続計画）の構築が必要では

基本条例や倫理条例を制定し、町民に議会の役割を理解してもらいたい
・他市町村を調査研究し、本町に合った条例を制定すべき
・定期的に情報収集やセミナー、町民を交えたシンポジウム等を積極的に開催すべき
・議員がなすべきことの明確化、行政や議会の情報公開、議員間自由討議の活発化、評価チェック、報酬額の改定等、基本条例は導入検討すべき
・倫理条例は、議員および町民の責務や政治倫理基準の遵守、審査の請求等を検討すべき
・基本条例は時間をかけて審議すべき
・問答や夜間議会、報告会等活性化に取り組んできたが、さほど成果は上がっていない



河村准教授からご指導いただきました

基本条例は、議会や議員のあるべき姿と現状が混在しており、現行制度の活用が先決
・通年議会導入となったが、行政サービス低下を招かないようにつすべき
・議会が、アマチュア志向かプロ志向かにより、基本条例や倫理条例が必要なのか明確になるが、プロ志向を目指すべき

また、9月25日には、さらなる知見を広げるために、議会基本条例の導入実績のある先進地の研究を図るために、宮城県町村議会議長会の村上恵造事務局長を招き研修会を開催しました。
開催後の各委員からの意見を、以下にまとめて一部を掲載いたします。
基本条例の中に倫理に関する事項を盛り込めば、倫理条例は必要ないのではないかと
・住民のための議会であり、本町議会に合う基本条例を制定すべき
・町長等への反問権の付与は、論点を明確にするため必要である
・倫理条例は基本条例制定後に検討すべきと思つた
基本条例は、他市町村からヒントをいただき検討したいと思つ

基本条例倫理条例の必要性を住民にも講演会等で伝えるべき
・基本条例は中身が理想論化され、パフォーマンスに感じる
・基本条例倫理条例ともメリットは感じられないが、賛成、反対の議論ではなく、自由な発想や議論はすべきと思つ
・基本条例は、蔵王町のよつに講演会や説明会等を開催し、住民と一緒に作り上げていきたい
・他町村の基本条例や倫理条例の調査研究は終了して、本町に合ったものを制定すべき
・基本条例は住民と議会との約束事であり、町との紳士協定で成り立つもので、よりよい条例制定に向け、町民への説明や議員間の意思疎通を図るべきである



ぼっけの「ボーちゃん」

なお、町議会では、本会議のみならず、委員会も傍聴できますので、興味がある方はぜひ足を運んでみてください。

クイズ？

<3つの中から選んでね>

問1 GIGAスクール構想で小中学校に整備する端末はどれでしょうか。

- ①タブレット ②スマホ ③ノートパソコン

問2 新型コロナの影響による町民の経済負担を軽減するため水道の基本料金を免除しました。何カ月でしょうか。

- ①1カ月 ②3カ月 ③5ヶ月

問3 東日本大震災メモリアルモニュメントの設置場所は。

- ①吉田浜 ②花渚浜 ③菖蒲田浜

応募方法： はがきにクイズの答え、氏名、住所、年齢、議会へのご意見を書いてお送りください。(メール可)

正解者の中から抽選で3人の方に図書券を呈呈します。

あて先：〒985-8577七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
七ヶ浜町議会事務局 議会だより係
Eメール gikai@shichigahama.com

締切り：令和2年11月30日(当日消印有効)

前号の答え：問1 ③ 問2 ③ 問3 ①
当選者：太田博子さん、藤田加代子さん、尾形弘子さん

議会を監視するのはみなさんです。

一次の12月会議は12月2日開会予定です

詳しくは議会事務局まで TEL357-7435
または、町ホームページ「町民便利帳」をご覧ください。

<http://www.shichigahama.com>

発行責任者	岡崎 正憲	熊谷 明美	木村 仁	小林 秀和	佐藤 倫明	遠藤 直美	佐藤 久和	佐藤 衛	木村 稔	広報広聴常任委員会
議長	岡崎 正憲	熊谷 明美	木村 仁	小林 秀和	佐藤 倫明	遠藤 直美	佐藤 久和	佐藤 衛	木村 稔	広報分科会

◆今回の議会だよりはいかがでしたか。9月会議は審議する内容が多いため分かりやすく丁寧に新たな気持ちで編集作業に取り組みました。

◆皆さんこんにちは。コロナ禍の中、ちよつとしたことで、ストレスや不安を溜め込んでしまいがちになってはいないでしょうか。そんな時は、お散歩がお勧めです。ウォーキングという運動のイメージですが、お散歩なら10分程度でも良いですし、肩肘を張らずに気軽にできます。何よりも気分が良くなり笑顔になれますよ。お散歩から少しずつ外出時間を増やせていけたら良いですね。

NaNa5931にインタビュー

今回は、七ヶ浜国際村を拠点に活動しているミュージカルグループ「NaNa5931」の団員の中から菊田一成くんを紹介します。



きくた いっせい
菊田 一成くん
(松ヶ浜小5年)



©Kiyoshi Kashiwaya

昨年公演されたNaNa5931オリジナルミュージカル「でえぎの涙」

入団するきっかけは？

お姉ちゃんたちが先にミュージカルを習っていて、公演を観て、とても楽しそうだったので始めました。

グループへの想いは？

これからも仲良く楽しく協力して一緒に頑張りたい。

これまで印象的だったことは？

全員で名古屋や鎌倉に行って、『ゴーへ(Go Ahead)』公演したこと。

これからの目標は？

劇団四季に入団した先輩お兄さんみたいに歌もダンスもかっこよく上手になりたい。

町や議会への要望は？

コロナが落ち着いたら、ミュージカルを公演して、七ヶ浜の良さを伝えていきたい。

今回の表紙

笑顔いっぱい

10月1日に行われた夕見小学校の5年生による稲刈り体験の一コマです。

編集後記

